

令和2年度総合旅行業務取扱管理者試験（2020.10.11）

合格体験記

受験の感想・勉強法など

タレントチャージ

代表 織田風準

目次

1. この受験記のあり方について
2. 「総合旅行業務取扱管理者試験」を受験したきっかけ
3. 令和元年度の二度にわたる中止
4. 試験科目
5. 受験勉強の進め方
6. 当日の試験会場の様子
7. 試験問題の感想と自己採点
8. 勉強に使用した教材
9. この試験に限らずどんな試験でも思うこと

1. この受験記のあり方について

この記事は、初学者の方でも充分わかるようにはしていますが、総合旅行業務取扱管理者試験が、ある程度どのようなものか分かっている人向けです。また、他の資格試験などにも役立てられるものがあれば、そういった内容も盛り込んでいます。

「こうすればいい」というノウハウは、人によって役に立つか差が大きいと思いますので、成功体験談の披露ではなく、気をつけてもらいたい事項や失敗談を盛り込むようにしました。ちなみに、私の資格試験の勉強は基本的には独学です。スクーリングをしたものもありますが、この試験についても独学のやり方と認識しておいてください。

2. 「総合旅行業務取扱管理者試験」を受験したきっかけ

旅行好きというほど頻繁に旅行しているわけではないですが、地理が得意だったので、旅行については詳しくなりたいという気持ちがありました。

すでに平成 17 年に「国内旅行業務取扱管理者」は取得済みで「国内」から「総合」へグレードを上げたいと、かねてより思っていました。それから十数年経過しましたが、近年インバウンドばかりで、日本がもてなす側として注目されつつある流れが、何か今後の旅行業界を変えそうだと思い、改めてこの資格に興味を持った次第です。

3. 令和元年度の二度にわたる中止

1 回目は台風で前日から各鉄道会社が計画運休を行う影響で、中止になりましたが、正直ホッとしていました。準備が不十分だった自覚があったからです。

国際航空運賃と語学は問題集でトレーニングしても限界があると感じていて、準備の完成度を上げられる他の分野は、得点源にすべきと思っていましたが、海外旅行地理は出題範囲が広く、勉強量が得点源とまでいえない感じでした。仕切り直しでちょうどいいかなと思いました。

2 回目の中止はコロナ関連です。2 回目も 1 回目程度の勉強量でした。しかも勉強再開が 2 回目実施の日取りが決まってからの 1 か月程度なので、全体的に準備不足でした。

しまいには令和元年度では、総合旅行の試験は行わないという決定が下され、2 度の受験勉強は実を結ばないまま、令和 2 年度を迎えました。

2 度受験の機会をくじかれて、そこで挑戦する意欲を失ってしまう人もいたでしょう。私も一旦はやめることも考えましたが、2 回の受験勉強がもったいない方が上回り、令和 2 年度に受験することとしました。

4. 試験科目

1. 旅行業法及びこれに基づく命令
2. 旅行業約款、運送約款及び宿泊約款
3. 国内旅行実務
4. 海外旅行実務

総合旅行業務取扱管理者試験はこの 4 科目で実施されますが、すでに国内持ちなので「2. 旅行業約款、運送約款及び宿泊約款」と「4. 海外旅行実務」の 2 科目のみを受験しました（受験区分 E）。

合格には各科目得点率 60%以上が必要です。

5. 受験勉強の進め方

本来の受験目標であった2019年10月、延期となり2020年3月、実際に受験できた2020年10月とあるのですが、特段記載がなければ、2020年10月受験を照準にした受験勉強だと思って下さい。

(1) 旅行業約款、運送約款及び宿泊約款

1か月前の9月に入ってから始めました。すでに2回受験勉強していますから、1か月前で十分だと思いました。下記に紹介しているTAC過去問と大原テキストをそれぞれ3周しました。

ただし、規程の条文建ての文書がある程度読み慣れている人には、この方法でも良いかなという話です。

(2) 海外旅行実務－国際航空運賃

受験勉強されているみなさん、きっと、途中降機なのか乗継なのか、出発曜日など「注意すべき点」は全てアタマに入っているはずなのです。

そういった「注意すべき点くらい」十分わかっているとします。

でも実際過去問を解いていると、1つ条件を読み飛ばしたりして、ケアレスミスしていませんか？過去問とトレーニング問題集では、どうしても練習量が足りないと思います。練習不足でケアレスミスが治らないうちに、本番を迎えている人も多いかと思います。これが、航空運賃計算を苦手にする要素ではないかと思っています、

私の場合は、受験勉強中は問題を解いた後も、過去問の設問ごとの「運賃表」を何度も見比べてみました。運賃表も設問によって大きく特徴が異なりますので、どの部分の規定が問題として狙われ易いか考えたりしました。

それから、結合運賃の条件がどの部分まで影響するかを、確実に把握するようにしました。

(3) 海外旅行実務－旅券法、出入国手続等

得点源にすべく、直前の追い込みが一番時間をかけた分野でした。

直前まで、出入国許可の「みなし」とそうでないものの違いが、よく分からなかったです。もし分かりにくいという方は、テキストや過去問の文章を、何度も読んでみて下さい。一字一句追いかけて丁寧に読むと、糸口をつかめるかもしれません。

(4) 海外旅行実務—語学

2 題の英語の長文読解で構成されています。

もう受験英語なんて何十年も前のことですし、英検も持っていません。勘所を捉えきれずに、本番を迎えてしまった感じです。全部の科目のなかで、もっとも早く 2018 年末頃から着手したのが語学でした。英検 2 級の長文読解の問題集をやって、勘所を鍛えて（いるつもり）いました。さらに英単語を覚えることもしましたが、正直あまり効果はなかったと思います。

6. 当日の試験会場の様子

(1) 検温で行列することはありません

検温のため、試験会場の建物に入る直前のところで、スマホ端末みたいな機器を、スタンドに立てて近くところを通って測ります。機器からアラームが鳴ったり警告サインが出たりしなければ、問題なく会場に入れます。来場された方々は、機器の前をどんどん通り過ぎて、検温のために行列になったり、順番待ちになったり、本番前の貴重な時間を取られることは、ありませんでした。

(2) 座席は密接回避を考慮された配置です

試験会場における、受験者ごとの着席指定は縦に見ていくと、前後の方とは 1 人分の位置を左右交互にずらして決められています。また、同列の方との着席位置も、最低 1 メートルは確保しているように思えました。しかし、やはりそれでも大教室だとそれなりの人数がいるように感じました。

7. 試験問題の感想と自己採点

(1) 「旅行業約款、運送約款及び宿泊約款」【自己採点 72 点/100 点】

試験時間は 40 分なので、スピード勝負です。この科目で落とす人は比較的少ないので、時間管理だけ気をつければ大丈夫かなと思いました。

入院・通院見舞金の計算は、絶対取る！と決めて何度も練習しました。計算方法は固定したパターンになっているので、絶対落とせない設問でした。

各種約款では、コロナ意識したのか感染症に関する問題が出ました。特徴があったとすればそれぐらいで、例年通りの出題構成だったと思います。

(2) 「海外旅行実務」【自己採点 164 点/200 点】

試験時間は 80 分ですが、やはり文量が大変多いので、時間勝負ではありません。

1 国際航空運賃【自己採点 35 点/40 点】

大問 1, 2 がこの航空運賃計算なのですが、計算問題なので相対的に時間がかかります。本番では後回しです。引っかけ問題みたいなものは見受けられず、素直な問題ばかりという印象でした。

Fare Calculation Box の読み取り問題が出て、まさに長い数字の羅列。慣れない形式でしたが、意味がすぐにひらめきました。そのため落ち着いて解くことができました。

2 旅券法、出入国手続等【自己採点 35 点/40 点】

恒例&定型文みたいな出題傾向だったこともあり、得点源にすべく、直前の追い込みが一番時間をかけた分野でした。

テキストもトレーニング、過去問題集とも 5 周はしました。

3 周以降は速読みたいになってきたので、軽くやっている感じができて、かえって不安になったりもしましたが、しつかり得点できたので良かったです。

3 語学【自己採点 35 点/40 点】

実際に出題されたのは、ヘリコプターツアーとクルーズの案内（旅行条件）でした。必ず旅行ネタが出るわけだし、選択肢では常識的な内容を選べばいいか・・・くらいしか考えられず、結局はフィーリングで解きました。

対策らしい対策は立てられなかったわりには、高得点であったので、本当に運に尽きるとしか言いようがありません。

4 海外観光地理【自己採点 24 点/40 点】

この分野は、本来旅行・地理好きならさほど根詰めせずとも、それなりの得点を稼げるはずですが。私は地理好きでこの試験を受けたところもありましたが、正直言ってだいぶ苦しみました。観光という視点で、知識を問われることに慣れていないからです。

ただ、その国の地元の人、外国からでも美術や街並み、文化を愛している人にとって観光資源の知識は、常識を超えた自分の一部になっています。旅好きは、それぞれの地元の人などに、敬意を持てる人のはずです。ですから、知識があやふやなのは、そういう人たちに失礼に当たることだと戒めて、正確に覚えようと思いました。

5 旅行実務【自己採点 35 点/40 点】

飛行所要時間計算、ミニマム・コネクティング・タイム、ホテル用語、クルーズ用語、鉄道の知識、都市コード、航空会社コードなど細かい知識を問う設問で構成されます。

ヨハネスブルグやセビリアなど「J」「Q」の文字が入る都市コードは、日本人の発音では難しいと思いますので、覚えにくく感じました。

8. 勉強に使用した教材

(1) 大原出版株式会社「スマホで見れる電子版付 旅行業務取扱管理者試験 2020 年対策合格のミカタシリーズ」の下記 6 冊

標準テキスト 1 観光地理<国内・海外>

標準トレーニング 1 観光地理<国内・海外>

標準テキスト 2 旅行業法・約款

標準トレーニング 2 旅行業法・約款

標準テキスト 4 海外旅行実務

標準トレーニング 4 海外旅行実務

これら 6 冊が勉強の中心です。

2 科目受験だと試験範囲外の内容が入ってしまうので、お金無駄だなあと思いましたが仕方なかったです。試験範囲外のページは、セロテープでしっかり止めてしまいました。

電子書籍でも読むことはできますが、書き込みができないのと、試験範囲外を閉じることができないこと、特にトレーニングでは解答解説集を別ウィンドウで見られないので結構不便で、ストレスを感じました。外出時に電子書籍を見るのはあくまで気休め程度と思って下さい。

(2) TAC 出版 2020 年度版 総合旅行業務取扱管理者 過去問題集

5 年分の過去問題集。解答が別冊でないのも、まあ引きにくい。

余白が少ないので、書き込みにも向いていません。5 年分忠実に再現してくれただけの問題集。語学の解説はほぼ役に立ちません。

過去問題集は、必ず受験年度版（最新版）を入手しましょう。法改正等の最近の内容を盛り込んでいるからです。

(3) 成美堂出版 なんでもひける 世界地図

値段も比較的安いし、世界遺産の場所を網羅して書き出しているのが便利でした。

出来るだけ検索しやすく、自然地理や貿易など試験範囲とは関係ない内容が少ないものを選びました。市街地拡大図が無いのが残念でした。

せめて北京、パリ、ロンドン、ニューヨークぐらいは欲しかったです。

(4) 旺文社 英検 2 級 長文読解問題 150

必要と思ってわざわざ買う方はいないかと思います。

私はこれで英文に慣れることとしました。解説が丁寧であること、扱っている題材は古いですが、教養としてもタメになる内容が多かったです。

9. この試験に限らずどんな試験でも思うこと

(1) 改訂情報、追加情報は必ず見ること

テキストやトレーニングといった出版物の正誤表は、必ず見に行きましょう。

それも 1 回きりでなく、直前まで時々新しい情報が無いかを何度もチェックします。

古い制度の知識で試験会場に乗り込むことほど、無駄なことはありません。

多くの資格試験の出版物は、発売されてから「後出しじゃんけん」で訂正内容が公開されますので、勉強を始めてからも、時々出版物発売元のホームページをチェックしてください。特に独学の方はこの辺取りこぼししやすいので、注意が必要です。

(2) 弱点克服はほどほどに

まず、弱点克服ほど素晴らしい結果は無いと思います。しかしながら、限られた試験勉強の期間の中で、自分への鍛錬としての弱点克服はあまり意味が無いだけでなく、強いストレスとなるはずです。

弱点分野がある場合は、得点計画の中で、ボーダーラインをクリアできるか、他の分野の得点を借りないといけないかなどを見つつ、あくまで最低限取っておくべき得点を目標にしてみることです。そうした計画の中で、勉強を進めてみてください。

弱点が多すぎる場合は、それは受験回を一度見送るとか、あまりに多い場合は試験の難易度を下げた他の試験でチャレンジするなり、考えた方が良いでしょう。

(3) 鉛筆を使って勉強

総合旅行業務取扱管理者試験は、マークシート方式です。

マークシートの試験の場合ですが、マークを塗りつぶすという運筆がありますから、シャープペンよりは鉛筆を勧めます。そして、普段の勉強もできれば鉛筆メインで使ってみてください。普段使っている物と、試験本番で触れる物と、できれば感触は同じにしておいたほうが、普段通りの力が発揮できると思います。

(4) 当日の行動スケジュールを明確に

試験当日の朝起きてからのスケジュールを確認しておきましょう。利用する交通機

関等や受験会場までの道のりの確認は、受験日直前でなく、早目の準備がお勧めです。無理のない範囲で結構ですが、会場下見も行ってみれば良いと思います。

こうすることで、試験会場に乗り込む前に、当日の臨場感を持つ事ができてやる気向上が見込めます。調べたスケジュール等は、必ずメモに残して、当日見られるようにしておきましょう。メモに残すので内容は忘れても結構です。その分勉強の内容を覚えましょう。

受験日直前に頭に叩き込むべきは当日のスケジュールではありません。スケジュールは覚える必要はありませんが、メモに残しておきましょう。

当日必要なのは、試験で得点に振り替えることが出来る知識です。

長文にお付き合い頂きありがとうございました。

総合旅行業務取扱管理者試験の合格体験記は以上です。

この試験に限らず、私織田風準は、主に社会人になってから勤務との両立を幾多とくぐりぬけて、結果をものにしてきました。資格試験を乗り越えるノウハウについては、ある程度のは持っていますので、今後そうしたものをご紹介していけたらと思います。

内容については、いかがでしたか。

ご感想など心よりお待ちしております。